

高知県感染症発生動向調査（週報）

2020年 第2週 （1月6日～1月12日）

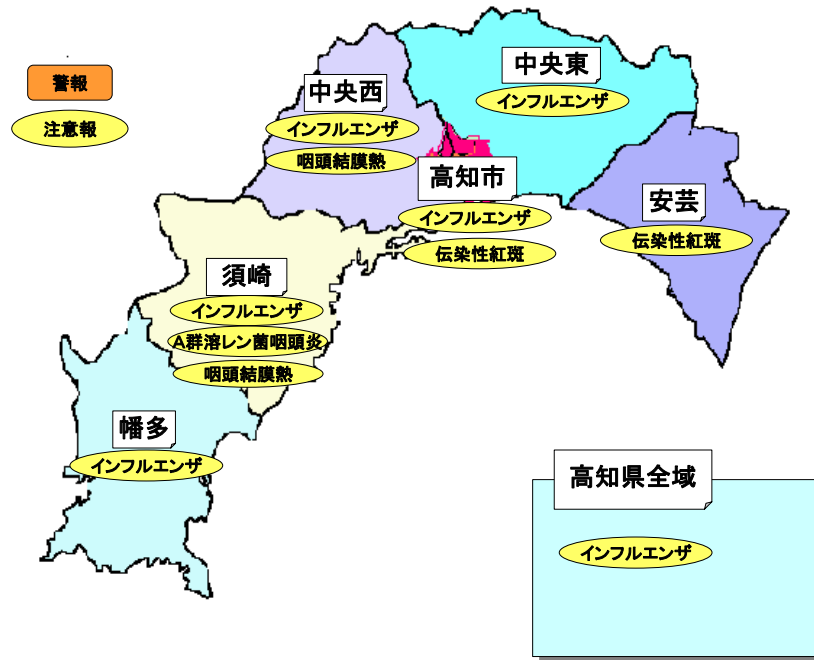
★県内での感染症発生状況

インフルエンザ及び小児科定点把握感染症（上位疾患5疾患）

↑ : 急増
 ↗ : 増加
 → : 横ばい
 ↘ : 減少
 ↓ : 急減

疾病名	推移	定点当たり報告数	県内の傾向
インフルエンザ	→	19.77	高知市、安芸で減少していますが、中央西、幡多、須崎、中央東で増加し、県全域、中央西、幡多、須崎、高知市、中央東では注意報値を超えています。
感染性胃腸炎	↗	2.50	須崎で急減していますが、高知市、幡多、安芸、中央西で急増、県全域、中央東で増加しています。
A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	↑	2.47	安芸で急減していますが、県全域、須崎、高知市、中央西、中央東で急増し、須崎では注意報値を超えています。
伝染性紅斑	↑	0.60	安芸で減少していますが、県全域、高知市、中央東で急増し、高知市、安芸では注意報値を超えています。
咽頭結膜熱	↑	0.50	幡多で急減していますが、県全域、須崎、中央西で急増、高知市で増加し、須崎、中央西では注意報値を超えています。

★地域別感染症発生状況



【感染症予防の基本】

咳やくしゃみの飛沫による感染症はたくさんあります。電車や職場、学校など人が集まる場所では「咳エチケット」で感染対策しましょう。

咳エチケット

- (1) 普段から皆が咳エチケットを心がけるとともにくしゃみを他の人に向けて発しないこと。
- (2) 咳やくしゃみが出るときはできるだけマスクをすること。
- (3) 手のひらで咳やくしゃみを受け止めた時はすぐに手を洗うこと。

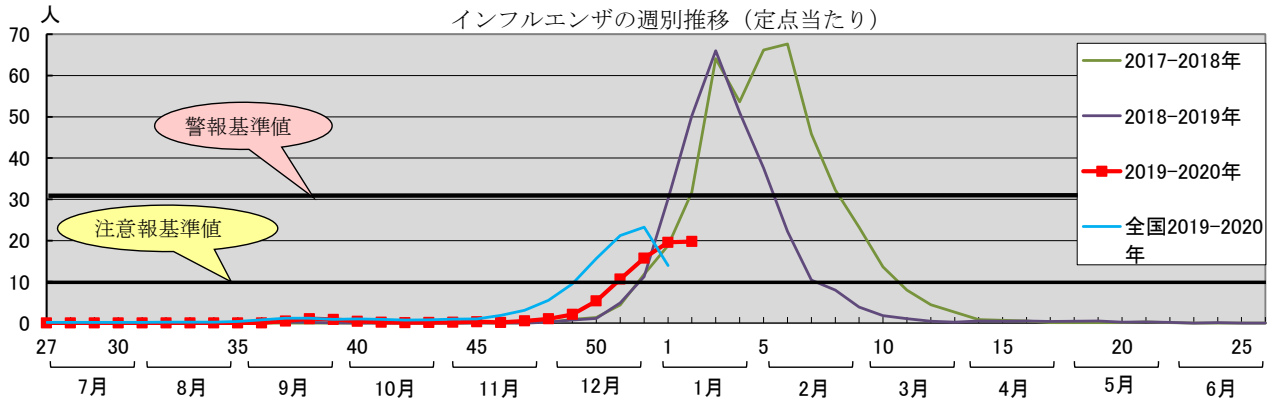


★県内で注目すべき感染症（注意点や予防方法）

○インフルエンザが増加し、県全域で注意報値を超えています

インフルエンザ定点医療機関における迅速診断ではインフルエンザ A 型 908 件、B 型 5 件、A 型・B 型同時検出 1 件、不明 35 件の報告があります。

インフルエンザは、流行期にはいっていますので、外出後の手洗いを心掛けましょう。また、症状のある方は、咳エチケットで感染対策し、早めに医療機関を受診しましょう。感染力が強く、いったん流行が始まると、短期間に多くの人へ感染が拡大することから、集団生活の場では特に注意が必要です。



高知県保健所別の定点当たり報告数と警報・注意報レベル状況（2020年第2週）

	第2週		第1週		第52週		第51週		第50週		第49週		第48週	
	定当	状況	定当	状況	定当	状況	定当	状況	定当	状況	定当	状況	定当	状況
高知県全域	19.77	○	19.56	○	15.73	○	10.65	○	5.35	-	2.08	-	1.02	-
安芸	6.75	-	10.75	○	6.50	-	0.25	-	0.75	-	0.25	-	0.00	-
中央東	16.82	○	13.91	○	11.91	○	6.55	-	2.00	-	0.45	-	0.27	-
高知市	19.56	○	27.00	○	22.63	○	13.75	○	3.63	-	1.38	-	1.06	-
中央西	27.40	○	18.60	○	14.20	○	17.80	○	26.40	○	12.80	○	5.00	-
須崎	20.75	○	14.50	○	8.75	-	6.25	-	5.50	-	1.00	-	0.25	-
幡多	25.50	○	20.00	○	16.25	○	13.00	○	2.50	-	0.50	-	0.38	-
全国			13.93	○	23.24	○	21.22	-	15.62	○	9.52	-	5.52	-

注意報値：○（10以上30未満） 警報値：△（30以上）

<予防方法> 手洗いと咳エチケットを心がけましょう

インフルエンザの主な感染経路は咳やくしゃみの際に口から発生される小さな水滴（飛沫）による飛沫感染であることから、感染予防のため以下の咳エチケットに心がけてください。

- （1）普段から皆が咳エチケットを心がけるとともにくしゃみを他の人に向けて発しないこと。
- （2）咳やくしゃみが出るときはできるだけマスクをすること。
- （3）手のひらで咳やくしゃみを受け止めた時はすぐに手を洗うこと。

【学校感染症】

インフルエンザは学校保健安全法（同法施行規則第19条）では、出席停止期間の基準が「発症した後5日を経過し、かつ、解熱した後2日（幼児にあっては、3日）を経過するまで」と規定される学校感染症（第2種）です。ただし、この出席停止期間は病状により学校医その他の医師において感染のおそれがないと認めたときは、この限りでないとして規定されています。

●厚生労働省「インフルエンザ総合ページ」

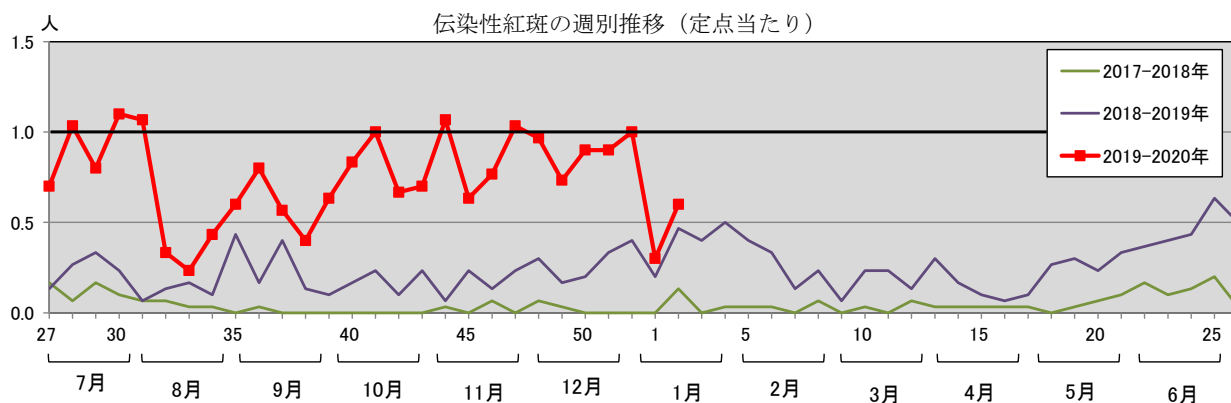
http://www.mhlw.go.jp/stf/seisakunitsuite/bunya/kenkou_iryuu/kenkou/kekaku-kansenshou/infuulenza/index.html

○伝染性紅斑（リンゴ病）気を付けて！

伝染性紅斑は別称「リンゴ病」と呼ばれ、頬がリンゴのように赤くなります。

7日前後の潜伏期間があり、その後、両頬に鮮明な紅い発疹が現れ、体や手足に網目状の発疹が広がります。通常1週間程度でそれらは消失します。多くの場合、頬に発疹が出現する7～10日前に、微熱や風邪のような症状がみられ、この時期にウイルスの排出が最も多くなります。発疹が現れる時期にはウイルスの排出量は低下し、感染力もほぼ消失します。

妊娠中（特に妊娠初期）に感染した場合、まれに胎児の異常（胎児水腫）や流産が生じることがあるので注意が必要です。



＜予防方法＞ 手洗いと咳エチケットです

飛沫感染や接触感染なので、手洗い、咳エチケット等の予防対策が有効です。予防接種はありません。ウイルス排泄時期には特徴的な症状を示さない場合もあるので、妊娠中あるいは妊娠の可能性のある女性は、できるだけ発熱などの症状のある患者との接触を避けるよう注意しましょう。

【学校感染症】

伝染性紅斑は学校保健安全法（同法施行規則第 19 条）では、出席停止期間の基準が「発疹（リンゴ病）のみで全身症状がよければ登校可能」と規定される学校感染症（第 3 種）です。ただし、この出席停止期間は病状により学校医その他の医師において感染のおそれがないと認めたときは、この限りでないと規定されています。

☆ダニの感染症（日本紅斑熱・SFTS・つつが虫病）に注意！

「日本紅斑熱」や「SFTS（重症熱性血小板減少症候群）」は屋外に生息するダニの一種で、比較的大型（吸血前で3～4mm）の「マダニ」が媒介する感染症です。

「マダニに咬まれないこと」がとても重要です。

マダニは、暖くなる春から秋にかけて活動が活発になります。人も野外での活動が多くなることから、マダニが媒介する感染症のリスクが高まります（全てのマダニが病原体を持っているわけではありません）。

【マダニに咬まれないために】

- 長袖・長ズボン・長靴などで肌の露出を少なくしましょう。
- マダニに対する虫除け剤（有効成分：ディートあるいはイカリジン）を活用しましょう。
- 地面に直接座ったりしないよう、敷物を使用しましょう。
- 活動後は体や衣服をはたき、帰宅後にはすぐに入浴し、マダニに咬まれていないか確認しましょう。
- ペットの散歩等でマダニが付き、家に持ち込まれることがありますので注意しましょう。

また、「ツツガムシ」に咬まれることによって感染する「つつが虫病」にもご注意ください。高知県では秋から冬にかけて多く報告されており、ダニの一種である「ツツガムシの幼虫（0.2mm）」が媒介する感染症です。全てのツツガムシが病原体を持っているわけではありません。

予防対策については、マダニと同じく「ツツガムシに咬まれない」ことです。

屋外活動する時には、長袖や長ズボンで肌の露出を避けることや、ツツガムシに対する虫除け剤（有効成分：ディート）を活用するなどマダニと同様の対策をして注意しましょう。

発熱等の症状が出たとき

野山に入ってからしばらくして（数日～数週間程度）発熱等の症状が出た場合、医療機関を受診してください。受診の際、発症前に野山に立ち上がったこと（ダニに咬まれたこと）を申し出てください。

- 重症熱性血小板減少症候群（SFTS）に関する Q&A（厚生労働省）
http://www.mhlw.go.jp/bunya/kenkou/kekkaku-kansenshou19/sfts_qa.html
- 高知県衛生環境研究所 ダニが媒介する感染症及び注意喚起パンフレット
<http://www.pref.kochi.lg.jp/soshiki/130120/2015111600016.html>

★病原体検出情報

受付週	臨床診断名	臨床症状	年齢	性別	保健所	ウイルス、細菌の検出状況
2	伝染性紅斑	39℃,発疹,	9	男	須崎	human parvovirus B19
2	-	39℃,	1	女	高知市	Human herpes virus 6
2	-	39℃,	1	女	須崎	Human herpes virus 6
2	インフルエンザ	39℃,上気道炎,	36	男	須崎	Influenza virus A H1pdm09
2	インフルエンザ	39℃,上気道炎,	15	女	幡多	Influenza virus A H1pdm09
2	インフルエンザ	39℃,上気道炎,	1	男	幡多	Influenza virus A H1pdm09
2	-	39℃,	4	男	高知市	Sapovirus genogroup unknown

前週以前に搬入

受付週	臨床診断名	臨床症状	年齢	性別	保健所	ウイルス、細菌の検出状況
52	感染性胃腸炎	37℃,下痢,嘔吐,嘔気,腹痛,	2	女	須崎	Coxsackievirus B5
52	伝染性紅斑の疑い	39℃,発疹,	2	男	高知市	Human herpes virus 7
52	水痘	38℃,	12	女	幡多	Varicella-zoster virus

<国内のインフルエンザウイルス検出状況>

国内のインフルエンザウイルス検出状況は、今シーズン直近5週(2019年第50週~2020年第2週)では、AH1pdm09の検出割合が最も多く97%(254件)、次いでB(ビクトリア系統)が2%(4件)、AH3が1%(2件)となっています。

★全数把握感染症

類型	疾病名	件数	累計	内 容	保健所
2類	結 核	1	1	90歳代 男	須 崎
5類	後天性免疫不全症候群	1	1	20歳代 男	中央東
	侵襲性肺炎球菌感染症	1	1	70歳代 男	高知市
	百日咳	1	1	50歳代 女	中央東

★定点医療機関からのホット情報

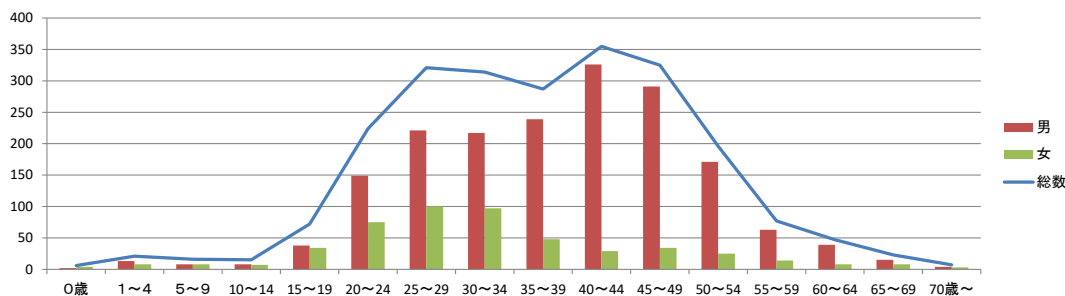
保健所	医療機関	情報
安芸	田野病院小児科	アデノウイルス扁桃炎 1 例 (2 歳女)
中央東	高知大学医学部付属病院小児科	マイコプラズマ肺炎 1 例 (6 歳男) ノロウイルス胃腸炎 1 例 (2 歳女)
	早明浦病院小児科	ノロウイルス胃腸炎 2 例 (1 歳男、2 歳男) インフルエンザ A 型 5 例 (4 歳～13 歳)
	野市中央病院小児科	水痘 2 例 (7 歳女：ワクチン 2 回済、12 歳女：ワクチン 1 回済) 病原性大腸菌 O-25 (ペロ毒素陰性) 1 例 (1 歳男) インフルエンザ 9 例 (内ワクチン接種済 1 人：3 歳女)
高知市	高知医療センター小児科	RS ウイルス 2 例 (10 か月男、2 歳男) インフルエンザ A 型 1 例
	けら小児科・アレルギー科	病原性大腸菌 O-25 腸炎 1 例 (2 歳) 病原性大腸菌 O-1 腸炎 1 例 (4 歳) ノロウイルス腸炎 2 例 (1 歳) マイコプラズマ肺炎 2 例 (8 歳、9 歳)
	三愛病院小児科	アデノウイルス感染症 1 例 (1 歳男)
	福井小児科・内科・循環器科	インフルエンザ A 型 18 例 溶連菌感染症 13 例 伝染性紅斑 1 例
	細木病院小児科	ノロウイルス胃腸炎 2 例 (1 歳男、2 歳女) ロタウイルス胃腸炎 1 例 (10 歳男)
中央西	石黒小児科	単純ヘルペス (鼻) 1 例 (44 歳女) インフルエンザ A 型 23 例 (2 歳～60 歳)
	くぼたこどもクリニック	溶連菌感染症 2 例 (8 歳男、10 歳男：仁淀川町) インフルエンザ A 型 27 例 (内ワクチン 1 回済み 7 人、ワクチン済み 7 人)
	日高クリニック	マイコプラズマ肺炎 2 例 (7 歳女、10 歳女)
須崎	もりはた小児科	流行性角結膜炎 (アデノ) 1 例 アデノウイルス扁桃炎 2 例 インフルエンザ増加 (A 型 45 人、B 型 1 人)
	大西病院小児科	アデノウイルス 2 例 (2 歳女、3 歳男) インフルエンザ A 型 7 例
幡多	さたけ小児科	インフルエンザ A 型 33 例
	幡多けんみん病院小児科	hMPV 1 例 (1 歳女)

★県外で注目すべき感染症

○風しん、先天性風しん症候群を予防しましょう

2019 年第 1 週～52 週の報告数は 2,306 人となっており、94% (2,176 人) が成人で、30 歳から 50 歳代の男性を中心 (男性 1,804 人、女性 502 人) に報告数の多い状態です。

2019年累積風しん報告数(年齢別・性別)



妊婦、特に妊娠初期の女性が風しんにかかると、生まれてくる赤ちゃんにも感染し「先天性風しん症候群」という病気にかかってしまうことがあります。

風しんの予防にはワクチンを接種し、風しんに対する免疫を獲得することが有効です。風しんに対する十分な免疫があるかどうかは、抗体検査で確認することができます。

赤ちゃんが生まれつきの病気にならないよう家族みんなで風しん抗体検査を受け、免疫がない場合は予防接種を受けることをご検討ください。

【無料の風しんの抗体検査について】

現在県内では2つの事業で「風しん」に対して十分な免疫があるかどうか確認するため無料の抗体検査を実施しています。

対象者・高知県内在住（住所を有する者）の妊娠を希望する女性

- ・妊娠を希望する女性または風しんの抗体価が低い妊婦の配偶者など（生活空間を同一にする頻度が高い方。婚姻の届けを出していないが、事実上婚姻関係と同様の事情にある方を含む）
- ・風しんの追加的対策として、1972年（昭和47）年4月2日から1979年（昭和54）年4月1日生まれの男性について、一括してクーポン券を配布
1962（昭和37）年4月2日から1972（昭和47）年4月1日生まれの男性については、本人がクーポン券を希望する場合において、住所地の市町村が個別に発行

検査受付：実施医療機関ごとに異なりますので、受診を希望する医療機関に事前にお問い合わせください（住所を証明する書類（運転免許証や健康保険被保険者証等）を持参ください）

検査結果：検査後1～2週間後に郵送もしくは再来院にてお知らせいたします

厚生労働省「風しんの追加対策について」（風しん抗体検査・風しん第5期定期接種受託医療機関）

https://www.mhlw.go.jp/stf/seisakunitsuite/bunya/kenkou_iryuu/kenkou/kekkaku-kansenshou/rubella/index_00001.html

無料の風しん抗体検査の実施及び抗体検査の委託を受けた医療機関（高知県健康対策課ホームページ）

<http://www.pref.kochi.lg.jp/soshiki/130401/fushinkensa.html>

風しんの追加的対策 Q&A（対象者向け） <https://www.mhlw.go.jp/content/000493833.pdf>

【各医療機関管理者の皆様へ】

（高知県健康対策課 平成30年8月17日付け30高健対第859号「風しんの届出数の増加に伴う注意喚起」より）

- 1) 発熱や発疹を呈する患者を診察した際は、風しんに罹っている可能性を念頭に置き、最近の海外渡航歴及び国内旅行歴を聴取し、風しんの予防接種を確認するなど風しんを意識した診察をお願いいたします。
- 2) 風しんを疑う患者を診察した際は、確定診断のためのウイルス検査を県衛生環境研究所で行いますので、直ちに最寄りの福祉保健所又は高知市保健所へ届け出るようお願いいたします。

●風しんの追加的対策関係：医療機関・健診機関向け手引き（厚生労働省）

https://www.mhlw.go.jp/stf/seisakunitsuite/bunya/000116890_00003.html

●風しん Q&A2018年1月30日改訂版(国立感染症研究所)

<https://www.niid.go.jp/niid/ja/rubellaqa.html>

●風しんについて（厚生労働省）

https://www.mhlw.go.jp/seisakunitsuite/bunya/kenkou_iryuu/kenkou/kekkaku-kansenshou/rubella/

●衛研ニュース第20号（高知県衛生環境研究所）30～50歳代の男性！風しんのことを知っていますか？

<http://www.pref.kochi.lg.jp/soshiki/130120/2018101000056.html>

発行：高知県感染症情報センター（高知県衛生環境研究所）
〒780-0850 高知市丸ノ内2-4-1（保健衛生総合庁舎2階）
TEL：088-821-4961 FAX：088-825-2869

この情報に記載のデータは2020年1月14日現在の情報により作成しています。調査などの結果に応じて若干の変更が生じることがありますが、その場合週報上にて訂正させていただきます。

★高知県感染症情報
疾病別・地域別報告数

高知県感染症情報(59定点医療機関)

定点名	疾病名	第2週 令和2年1月6日(月)～令和2年1月12日(日)						高知県衛生環境研究所				
		安芸	中央東	高知市	中央西	須崎	幡多	計	前週	全国(52週)	高知県(2週末累計) R1/12/30～R2/1/12	全国(52週末累計) H30/12/31～R1/12/29
ワイルド	インフルエンザ	27	185	313	137	83	204	949 (19.77)	939 (19.56)	64,553 (13.93)	1,888 (39.33)	64,553 (13.93)
小児科	咽頭結核膜炎			5	5	5		15 (0.50)	7 (0.23)	659 (0.22)	22 (0.73)	659 (0.22)
	A群溶血性レンサ球菌咽頭炎		6	42	10	12	4	74 (2.47)	21 (0.70)	2,188 (0.74)	95 (3.17)	2,188 (0.74)
	感染性胃腸炎	4	23	36	1		11	75 (2.50)	39 (1.30)	5,285 (1.80)	114 (3.80)	5,285 (1.80)
	水痘		5	3				8 (0.27)	3 (0.10)	941 (0.32)	11 (0.37)	941 (0.32)
	手足口病			1		1		2 (0.07)	8 (0.27)	345 (0.12)	10 (0.33)	345 (0.12)
	伝染性紅斑	2	3	12	1			18 (0.60)	9 (0.30)	488 (0.17)	27 (0.90)	488 (0.17)
	突発性発疹		1	5	2			8 (0.27)	4 (0.13)	283 (0.10)	12 (0.40)	283 (0.10)
	ヘルパンギーナ			2				2 (0.07)	()	41 (0.01)	2 (0.07)	41 (0.01)
	流行性耳下腺炎					2	1	3 (0.10)	()	67 (0.02)	3 (0.10)	67 (0.02)
	RSウイルス感染症		2	3			1	6 (0.20)	14 (0.47)	649 (0.22)	20 (0.67)	649 (0.22)
眼科	急性出血性結膜炎							()	()	3 ()	()	3 ()
	流行性角結膜炎			1				1 (0.33)	()	158 (0.25)	1 (0.33)	158 (0.25)
基幹	細菌性髄膜炎			1				1 (0.13)	()	3 (0.01)	1 (0.13)	3 (0.01)
	無菌性髄膜炎							()	()	3 (0.01)	()	3 (0.01)
	マイコプラズマ肺炎		1	2				3 (0.38)	1 (0.13)	74 (0.16)	4 (0.50)	74 (0.16)
	クラミジア肺炎 (オウム病は除く)							()	()	()	()	()
	感染性胃腸炎 (ロタウイルスに限る)			1				1 (0.13)	()	8 (0.02)	1 (0.13)	8 (0.02)
計 (小児科定点当たり人数)	33 (9.75)	226 (22.54)	427 (29.45)	156 (33.73)	103 (30.75)	221 (28.90)	1,166 (26.82)			75,748	2,211 (49.87)	75,748
前週 (小児科定点当たり人数)	49 (13.75)	172 (16.62)	481 (31.35)	100 (20.92)	62 (16.50)	181 (24.20)		1,045 (23.06)				

注 () は定点当たり人数。

高知県感染症情報(59定点医療機関)定点当たり人数

定点名	疾病名	第2週						高知県衛生環境研究所				
		安芸	中央東	高知市	中央西	須崎	幡多	計	前週	全国(52週)	高知県(2週末累計) R1/12/30～R2/1/12	全国(52週末累計) H30/12/31～R1/12/29
ワイルド	インフルエンザ	6.75	16.82	19.56	27.40	20.75	25.50	19.77	19.56	13.93	39.33	13.93
小児科	咽頭結核膜炎			0.45	1.67	2.50		0.50	0.23	0.22	0.73	0.22
	A群溶血性レンサ球菌咽頭炎		0.86	3.82	3.33	6.00	0.80	2.47	0.70	0.74	3.17	0.74
	感染性胃腸炎	2.00	3.29	3.27	0.33		2.20	2.50	1.30	1.80	3.80	1.80
	水痘		0.71	0.27				0.27	0.10	0.32	0.37	0.32
	手足口病			0.09		0.50		0.07	0.27	0.12	0.33	0.12
	伝染性紅斑	1.00	0.43	1.09	0.33			0.60	0.30	0.17	0.90	0.17
	突発性発疹		0.14	0.45	0.67			0.27	0.13	0.10	0.40	0.10
	ヘルパンギーナ			0.18				0.07		0.01	0.07	0.01
	流行性耳下腺炎					1.00	0.20	0.10		0.02	0.10	0.02
	RSウイルス感染症		0.29	0.27			0.20	0.20	0.47	0.22	0.67	0.22
眼科	急性出血性結膜炎											
	流行性角結膜炎			1.00				0.33		0.25	0.33	0.25
基幹	細菌性髄膜炎			0.20				0.13		0.01	0.13	0.01
	無菌性髄膜炎							()		0.01	()	0.01
	マイコプラズマ肺炎		1.00	0.40				0.38	0.13	0.16	0.50	0.16
	クラミジア肺炎 (オウム病は除く)							()	()	()	()	()
	感染性胃腸炎 (ロタウイルスに限る)			0.20				0.13		0.02	0.13	0.02
計 (小児科定点当たり人数)	9.75	22.54	29.45	33.73	30.75	28.90	26.82			49.87		
前週 (小児科定点当たり人数)	13.75	16.62	31.35	20.92	16.50	24.20		23.06				

病別年次報告数推移グラフ(インフルエンザ定点・小児科定点・眼科定点)

高知県感染症情報 疾病別年次報告数推移(2020年 第2週)

